



高れい者は、人にもよりますが、字が書と
しをとるだけで、手がすべる、字が書と
きにくく、足が重く感じる、視力、听力と
力が、下がる人もります。その他、いろう書と
いろ困りを、かかえた高れい者が、考
多くいることが分かりました。
わたしたちが、考
えた「スマイル」
を覚えて、すばらしりまちになれるよ
にめざしてみませんか。

スマイルの日

イ マ ス
ば ら し い

ちをめざして

つもだれにでも

やさしくせつず

ル

津久見市の人たちに
声をかけて助け合つて
ほしいといふ思ひで作りました。

うらもありまし

高れい者は、人にもよりますが、字が書と
しをとるだけで、手がすべる、字が書と
きにくく、足が重く感じる、視力、听力と
力が、下がる人もります。その他、いろう書と
いろ困りを、かかえた高れい者が、考
多くいることが分かりました。
わたしたちが、考
えた「スマイル」
を覚えて、すばらしりまちになれるよ
にめざしてみませんか。

スマイル

発行 津久見小学校四年
82-520

新 日 耳

高れい者のぎじ体験を通して、高
た。手ぶくろを付けて手のしもん
の少ない高れい者の気持ちになつ
て考えるといつもふうとうを開け
ました。本を読むことにも苦労し
ていて、老眼で見ると時間がかか
るし読みにくいでたくさんのかづ
きをかかえていることが分かりま
した。

もしも、高れい者が、横だん歩
道など、こまつていろとき次の
よつな行動をしてみませんか？

- ・荷物を持ちますか。
- ・手をかける。
- ・車が来ていいな？
- ・車が来ていいな？

たるのを手伝う。

あらわす。

この手紙は、高れい者のための「スマイル」活動について記載されています。文には、高れい者の特徴や活動の目的などが述べられています。また、高れい者の視点から見た「スマイル」活動の感想が記載されています。最後には、高れい者のための活動として、「手ぶくろ」の使用や「横だん歩道」などの実例が挙げられています。

障がいのしゃるい

私たちが一年間学んできた中で、障がいのかかるには、度合いがあり、強い人、たくさんあります。その中で、たくさんやんばい機です。でも、足がふくじゆうな方であります。うに、下の方に、



障がい者の接し方

私が見えなり人への接し方は、うすれはいいのか分からぬ人もいます。ここでは、その時の対しよ法を教えます。①の対しよ法は、信号でこまつていい歩くことで相手に口に持たせ、一歩に歩くことで相手に口に持できます。



中といのこく や 視覚障がいの方との交流で学んだ事
う声で場で例 瞳と出会った時に、
導きをす所すこえれば、しかし事が、あります。
るけまでに、みていいスの場所が、やからば
よひじやかにを持、てます。

工二バーナルデザインとは

視覚障がいの方との交流で学んだ事

すまいる新聞



障がり者に出会ったちは、障がり者は、無理や

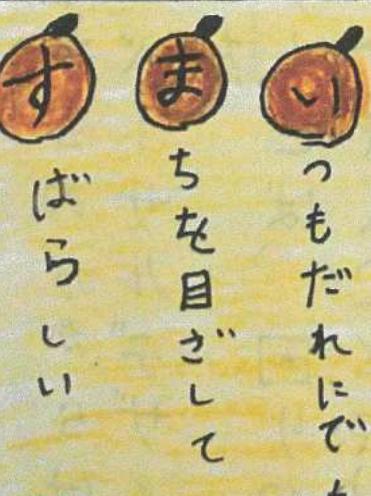
者にわざとらしく手助けが必要かを聞くと

常よりは、ますたして学びました。統合の学習で

病気れば、活動するやうなから脳の発達にからがとんどります。働き障

がい

が脳内にあります。身体性の障がいには、身体障がいなどによつて、手足の肢體症が不自由、があり、脳無



やさしくせす

つもだれにでも

津久見小四年
オリジナルキャッチコピー

ばらしい

ちを目さして

〈高れい者になつてみた!〉

私達は、高れい者の困りを知るために、高れい者ぎじ体験をしました。

しかいがせまくなるメガネ、キぶくろ、おもり、ヘッドホン、を付けました。手ぶくろをつけていたので、手が、すべりやすくなりました。しかいがせまくて、まわりが見えにくくなりました。それと、体が重か、たり、耳が聞こえにくか、たりしました。

特に、おもりをつけたの階段の上り下り、手ぶくろをつけて、ふうどきを開けるのが大変でした。

この体験から、色々な困りをかえている人に、どのようにせ、するか考えてみました。 おめでたす! こちらをどうんください。→

〈高れい者の困りについての接し方〉

- 耳がきこえにくい
- 下が見えないから1人だと心配(道路)
- さびしさなど心の不安
- 大きな声でゆき話す。
- 道路をあたるサポートをする。
- あいさつや声かけをする。

このように、困ることがちがったら、もちろん接し方も変わってきます。だから、困りに合った接し方で接するようにしてみませんか。

- (作成者)
- 小手川俐歩
 - 川崎彩加
 - 佐藤心花
 - 大村遥士
 - 黒田暖大
 - 祖田一花
 - 川村乃愛
 - 江口せな
 - 佐藤麗咲
 - 加茂音
 - 大石龍徳



(障がい者について学んだこと)

聴覚障がい

聴覚障がいとは、耳が白鳥な障がいです。もし町中で出会って道にまよついたら、ジェスチャーや手話の他に、紙に書いて話しかけるとよいと私たちを考えました。



障がい者の勉強を通して障がい者の暮らしは、どこも大変だと感じました。だけば、サポートの方や道具虹夫しながら歩いている人もいることが分かりました。それでも町中で困っている人もいると思します。もし、そんな人に出会ったら、はづかしくらずに声をかけると良いですね！

(障がい者について学んだこと)

身体障がい

したいよう



車イスバスケ

学校に来た車イスバスケ選手には、足がない人も、マヒをしている人もいました。しようがない人がでもある人でも、するようにルール加工されています。障がいの重工によつてもち点があるので気がねせず参加できるのがいいと思いました。

(障がい者について学んだこと)

不見覚障がい

目が乗首留な人が困っていたら、自分のそばを持つてもどうとよいと想います。例えは目がわるい人が1人にするのに困っていたら、背もたれに手をあててもうと、よいと想います。

つえ筋もあげたら、下すて下さい」の合図です。進んで声をかけましょう！

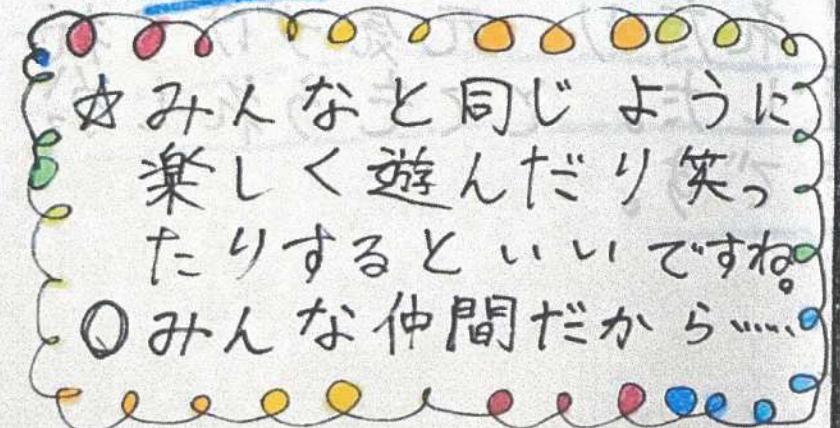


マ マ リ マ リ マ リ

障がいをもっている方への せっし方

障がいの種類

- 困っている時、「おねがいします。」と言われたら、助けましょう。また、自分でやりたいと思っていることもあるから、その時はそっとしましょう。
- それに応じて対応する時は、分かりやすく、やさしくせしましょう。
- 荷物を持てないようだったら、声かけをして、手助けをしましょう。



～身体障がい～

生まれつきの人と同じくやうれいのために、障がいを生じている状態。手や足がない、機能しないなど、肢体不自由。脳内の障がいにより手足が動かない脳性まひなどがある。

～知的障がい～

生まれた時や乳児期からゆっくり成長しているので、生活を行う中でこまることがある。脳の発達がゆるやかな人もいる。

※またその他にも、視覚障がいや、聴覚障がい、発達障がい、精神障がいなど、いろいろな障がいの種類があります。障がいに関係なくみんなが、助け合いながら生活できればいいかな。

障がい者や
高齢者について
たくさん
字びました



すばらしい
まちをめざして
いつもだれにても
やさしく
せっすぐ
すまいる
覚えよう。

一製作者 0972-82-5201
津久見小学校4年

高齢い者になりきった

ぎじ体験では、高齢い者の苦労を体験しました。思って、いたより高齢者の方々は苦労していると思いました。本を読む力の低下などです。ほかにんだりペンで字を書いもにんちしょうや、物あすれたり、アメを食べたり、などいろいろな困りがあるいつも快樂にしていることを私は、学びました。ことが高齢い者にはむ話しかけたり、手伝ったりするずかしいことだとわかったよいと思いました。がつか、りました。ぎじ体験できちょうを体験ができたから、高齢い者を支えていきたいです。

オレンジ
リンク



高齢い者に出会ったら…

外を出歩いている時、高齢い者に出会うことがあります。高齢い者には、たくさんの苦労があります。たとえば、足こしのあさが記憶力の低下などです。ほかにものにんちしょうや、物あすれたり、アメを食べたり、などいろいろな困りがあることを私は、学びました。私が高齢い者にはむ話しかけたり、手伝ったりするにするのが大せがだと考えました。話かける時は、「やさしくやっくりは、きり」をいしきすると耳が聞こえづらいなどの困りがある人に、伝わりやすくなると鬼ります。

高齢い者のことを知つ みよう。

私たちは、高齢い者の方々に、元気になつてもらうために、絵はがきや、お手紙を送りました。絵はがきには、花、果物、野菜を描いて、元気になつてもらいたいようひどことを書きました。

老人ホームの方々は、とてもよろこんでくださり。私たちの絵はがきをかざしてくれた老人ホームもありました。私たちは、がくばって書いた物をかざしてくれたり、お礼をしてくれたり、元気づけられました。とてもうれしかったです。